



花さき山



タイトル文字：滝平二郎



ブックスタートクラブ

【幼児向けおはなし会】

1月10日、24日⇒午前10:00～

17日⇒午前11:00～

17日、24日のおはなし会は、**児童室**で行います。視聴覚室開放は**10日・31日**のみとなります。

1月のおはなし会

場所：明野図書館 児童室

いつ：1月6日（土）&21日（日）

時間：午前11:00～



**ウォンバットエクササイズ
（親子体操教室）**

明野図書館 視聴覚室

1月31日（水）10:30～



音読会

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：1月9日（火）

午前11:00～12:00

気軽に発声練習してみませんか？

1月のテーマも、『論語』！



1月の映画会

「永遠のスター特集 第二弾！」

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：1月7日（日） 10:00～

（上映時間：100分）

大人向けの映画です！お申込不要。

グレース・ケリー、スティーブ・マックイーンなど

4名のスターの名シーンが楽しめます☆



本の福袋&福引

～in 明野図書館～

期間：1月5日（金）～14日（日）

※福引は8日まで

内容：子供から大人まで楽しめる本の福袋です。

限定100個！無くなり次第、終了となります。

さらに、今年は福引も登場！本を5冊以上借りると、チャレンジできます☆

※福袋に入っている本はすべて貸出用です。

必ずカウンターにて貸出手続きを行ってください。

福袋は福引の対象外です。

ぬいぐるみのおとまり会

場所：明野図書館 視聴覚室

対象：0歳～12歳の

図書館利用カードを持っている方で、2月17日（土）のおはなし会に参加できる方

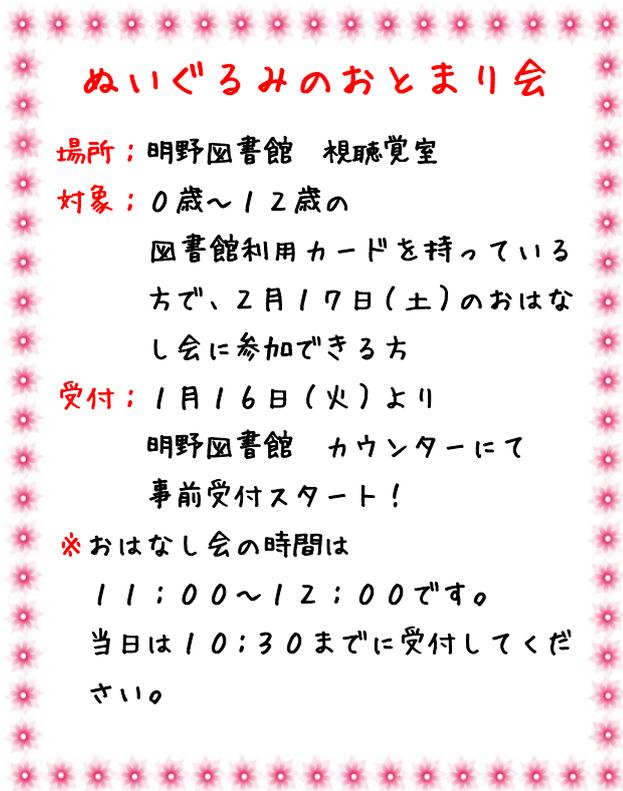
受付：1月16日（火）より

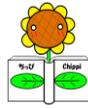
明野図書館 カウンターにて
事前受付スタート！

※おはなし会の時間は

11:00～12:00です。

当日は10:30までに受付してください。





全国報徳サミットに参加して

水木 洋三

毎年全国報徳サミットが尊徳命日前後(10月20日)に全国報徳研究市町村加盟自治体で開かれている。今年は23回目、11月11日に日光市(今市)で開催され、郷土史を考える会や郷土史に親しむ会等約50人が参加した。

会場には早めに着きサミットが始まる前に二宮堀を見学した。その一つである今市文化会館入口が暗渠になっている用水堀を視察、用水路は狭いというイメージであったが会館の上流100m位までの開放用水路は幅1.5m位で比較的大きな用水で「三ヶ村堀」と言われている。この二宮堀は子の二宮弥太郎や弟子の富田高慶の応援も得て僅か二十日間でしかも全て人力で6.3kmも掘削している。周囲の絶大な信頼がなければ不可能と感じた。また、この用水は田川にながれているという表示があったので鬼怒商高校の西側を流れている「田川」と同じなのか?何人かの会館職員に聞いたが解らないという返事。……身近な田川が源流で二宮堀に繋がっているのか大変興味があり是非、調べてみようと思った。

サミットはアトラクションの神楽の後、基調講演「二宮尊徳の思想と仕法の要点」(東北大 名誉教授大藤氏)があった。二宮金次郎は幕末動乱の激しさにより税(年貢、課徴金など)の拡大や天変地異による生活苦、特に疲弊した村々・農家の復興、すなわち民の安心生活を得るためにまた自らの苦しい生活からもその知恵として報徳思想 一 至誠・勤労・分度・推譲 一 が生まれた。その考え方進め方は地域の生活業態や文化・習慣を認めつつ新しい農業技術や人づくりにある事は現在での改良改革にも言え、日本人として互いに実践すべきと痛感した。得てして改革しようとするすべてを「0」にしようとするが尊徳は現状を肯定しつつの改革である。それは並大抵でなく、それ故に改革計画に月日を要したと思われる。

学習発表では特に小学生が尊徳思想を勉強する中で現地学習を含め、灯台下暗しで今まで知らなかった自分たちの米作りのための水・土地、尊徳の苦勞した人作りなどを調べ真剣にはつらつと発表していたのに感激した。子供達への指導は学校や親ばかりでなく、地域の人達もその地の歴史、生い立ち、環境変化などを語り継ぎ、今の生活があり更に継続発展する事を指導すべきと感じた。

パネルディスカッションでは報徳研究17市町村中14市町村が参加し、各市町村の特徴と思われる活躍事例が報告されたが、特に福島県市町村は尊徳思想による東日本大震災復興や日光市の小学校での道徳や学級時間に尊徳に関する必須学習を設けている事などが印象に残った。

午後の二宮尊徳記念館では幸田露伴の少年向け伝記「二宮尊徳翁」の薪を背負って本を読む金次郎の口絵が全国に広がった「二宮金次郎像」の出発点であることを教えられた。また、日光市(今市)は尊徳の終焉の地なので現在の尊徳二宮神社の脇にある墓を訪ねた。現在は大きな墓石、灯籠、碑などが建っているが当初は中央部の小さい墳墓のみだったそうだ。それは仰々しくするなという尊徳の遺言があったとのこと。墓石の両側に灯籠があるが、下館藩が建てた。再来年第25回全国報徳サミットの開催地は筑西市である。2年後の成功を目ざしたい。二宮尊徳は、素晴らしい農政家・経済家である。時代は変わっても「貧すれば鈍する」のではなく「貧するほど叡智」以って何事にも対処していく事が必要だと感じた尊徳サミットだった。

みずき ようぞう／郷土史研究家